

県内公立図書館サービス指標(平成26年度)

おしん図書館

No.183

項目	個人貸出登録率	人口1人あたり							
		個人貸出冊数	蔵書冊数	図書費(26年度決算)	人口1,000人あたり年間受入冊数				
市町村平均	35.2%	5.40冊	3.12冊	169円	114.7冊				
市町村合計	2,085,452人	31,995,234冊	13,459,693冊	1,003,524円	679,478冊				
鎌ヶ谷	35.0	葛里	5.27	館山	3.10	習志野	159	茂原	110.0
香取	34.5	酒々井	5.24	四街道	3.03	南房総	153	市原	108.2
印西	33.1	柏	5.16	鎌ヶ谷	2.78	市川	149	八街	106.8
八千代	32.7	八千代	4.31	流山	2.70	八街	148	南房総	105.1
四街道	32.6	松戸	4.76	鴨川	2.67	香取	147	船橋	100.6
酒々井	32.2	八街	4.47	木更津	2.63	流山	139	流山	92.6
富里	31.9	東金	4.17	八千代	2.49	松戸	133	松戸	90.6
野田	31.6	船橋	4.10	裕橋	2.45	東金	130	東金	88.0
成田	31.4	千葉	4.01	東金	2.40	鎌ヶ谷	129	大多喜	87.0
銚子	30.7	四街道	4.00	茂原	2.37	柏	120	柏	86.5
流山	30.4	鎌ヶ谷	3.47	市川	2.32	館山	113	木更津	85.9
千市	27.5	茂原	3.32	千葉	2.30	茂原	113	館山	85.3
市川	27.4	木更津	3.27	習志野	2.24	市原	109	八千代	84.7
旭	26.7	鴨川	3.04	柏	2.22	旭	106	鎌ヶ谷	82.8
浦安	26.7	館山	2.39	銚子	2.21	木更津	106	市原	80.5
東金	26.4	香取	2.73	勝浦	2.06	八千代	106	香取	76.1
鴨川	24.4	南房総	2.30	香取	1.88	銚子	103	勝浦	71.3
勝浦	24.1	大多喜	2.05	旭	1.51	勝浦	100	銚子	71.1
柏	20.8	銚子	1.83	東庄	1.49	東庄	83	東庄	67.4
東庄	20.7	旭	1.55	松戸	1.20	大多喜	75	旭	63.8
茂原	19.5	勝浦	1.41			千葉	66	千葉	57.4
南房総	19.1	東庄	0.99						
館山	16.0								

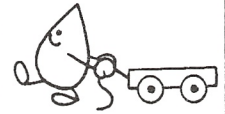
代発
TEL 047-311-0886
おしん図書館
104
416

(注) 1 複数館ある市町村は、一つにまとめた
 2 人口の数値は、千葉県毎月常住人口調査月報より(平成27年4月1日現在)
 3 市町村平均・市町村合計欄の数値は、38市町村の平均・合計である
 4 図書費には臨時経費のうち図書費を含む
 5 個人貸出登録率は累計で自治体内数か自治体外数を含めるかは自治体による (*印は、自治体内数)
 6 個人貸出冊数には、近隣自治体住民に対する貸出冊数が含まれる自治体がある

松戸市 教育費・図書館費の変遷

(単位:千円/年度)

年度	2006(H18)	2007(H19)	2008(H20)	2009(H21)	2012(H24)	2013(H25)	2014(H26)	2015(H27)	前年度との比較
教育費	12,343,479	12,928,044	13,735,525	13,752,731	12,370,891	11,973,593	12,745,652	19,975,413	7,229,761
教育総務費	2,088,765	2,229,888	2,340,215	2,630,304	2,083,597	2,034,626	1,969,365	2,090,967	121,602
小学校費	2,093,892	1,948,634	1,991,033	2,389,735	2,414,645	2,521,704	3,121,091	8,526,103	5,405,012
中学校費	1,164,987	1,766,067	2,216,363	1,501,010	1,354,305	1,235,956	1,236,010	2,548,207	1,312,197
高等学校費	790,819	798,641	805,918	1,002,928	1,104,121	826,217	862,339	1,177,021	314,682
幼稚園費	732,379	745,404	758,058	786,803	—	—	—	—	—
社会教育費	2,504,658	2,452,989	2,388,483	2,326,809	2,252,065	2,193,880	2,156,829	2,158,282	1,453
保健体育費	2,967,979	2,986,421	3,235,455	3,115,142	3,162,158	3,161,210	3,400,018	3,474,833	74,815
図書館費1・2	303,127	296,498	291,056	290,118	249,857	248,859	260,236	303,395	43,159
1.図書館管理運営事業費	242,331	241,211	244,129	254,332	246,579	245,251	255,576	299,167	43,591
図書等購入費	67,143	67,168	69,148	69,148	71,426	72,929	74,294	76,110	1,816
貸出等管理業務	17,224	16,860	15,455	15,385	16,852	17,103	17,071	18,332	1,261
受付業務	90,518	92,454	94,204	89,672	97,872	95,089	98,267	105,105	6,838
施設維持貸出業務	24,141	20,361	21,323	26,925	18,153	18,524	25,822	57,187	31,365
身体障害者図書管理業務	463	1,619	1,429	2,147	2,182	1,602	1,298	1,249	-49
講座等行事開催業務	342	287	285	285	308	301	314	860	546
広報業務	69	56	50	50	50	50	52	54	2
情報化促進業務	42,431	42,406	42,235	50,720	39,736	39,653	39,458	40,270	812
2.幼児・児童の読書普及事業	60,796	55,287	46,927	35,786	3,278	3,608	4,660	4,228	-432
おはなしキャラバン事業委託業務	59,471	54,011	45,972	0	—	—	—	—	—
読書普及活動業務	978	1,022	955	35,786	3,278	3,608	4,660	4,228	-432
おはなしフェティバル補助金	267	254	0	—	—	—	—	—	—
松戸子どもの本ネットワーク	80	0	—	—	—	—	—	—	—



1月30日(土)13時16分、松戸市立図書館子ども読書推進センターで開催。参加は県内5団体と常世田良さん・柳澤潤さんの計18名でした。担当は「おーい図書館」。

前半は「新しい図書館のかたち」と題して、松戸市図書館整備計画審議会委員の柳澤潤さんに講演して頂きました。

柳澤さんが設計された塩尻市立図書館を含む市民交流センター「えんぱーく」について、その成り立ちから詳しい説明を頂きながら、新しい図書館を語って頂きました。柳澤さんのお話からは、誰もが居心地良く活動できる図書館作りへの熱意が伝わってきました。住民に最も使われる公共施設は図書館であり、新しい図書館とは、

自分達が主体的に活動できる図書館だと考え、と話されました。

続いて常世田さんから「えんぱーく」の現況を語って頂きました。開館当初の目標来館者数は年間40万人だったが、開館後は平均60万人、貸出し冊数は年間67万冊と大巾に上回っている。今では松本からの来館もあると言ふ、逆の様な現象も起きています。今、日本で最も進んだ公共図書館だと感じているとお話しました。

後半は各団体からの現況報告。最近はいつでもどこでも話題

になるが、指定管理に移行になる動きに注意したい。移行してからは受付カウンターの変態が良いなどと評価する人もいるが、受付はサービスの一部であり、図書館本来の役割の質の低下に気をつける必要がある。目的を持つて自治体が設置している施設

設(学校・病院なども)に指定管理はそぐわない。本来の役割を充

分果たせない、等の話が出ました。常世田さんのご提案で、次回連絡会は6月下旬〜7月上旬頃に、

希望者現地集合で「えんぱーく」見学を行うことに決まりました。



脱成長のまちづくりを考える

「公共施設再編の中、図書館をしっかりと位置付けたい」

報告 武笠紀子

1月31日(日)に開催された「第二回松戸市公共施設再編シンポジウム」に参加しました。

一回目のシンポジウム(2015年11月19日(木)開催)では、岩手県紫波町の図書館を組み込んだ総合施設「オカール」の計画・設計に関わった方からお話を伺い、継続性と

地域性と独創性を持ってのまちづくりについて考えました。

二回目のシンポジウムでは、建築家で東洋大学教授の工藤和美さんから「これからの公共施設」について。東大大学院准教授の村山顕人さんから「脱成長時代の都市・まちの将来像」について。続いて、建築家で東洋大学専任講師の藤村龍至さんから「公共施設再編マネジメントからまちづくりへ」。それぞれ映像と共にたくさんの実例をあげてのお話を聞きました。
今、少子高齢化を経て人口減少社会へ入りつつあり、今までのような公共施設を増やしていく「まちづくり」は出来なくなりそうです。脱成長時代に合った経済性と持続性を考慮しながらも、誰もが使いやすい親しみやすい公共施設について、行政主導でも行政任せでもなく、市民が決めていく時代になったという事です。

2月23日(火)には、本年度最後の公共施設再編ワークショップ(三回目)にも参加しました。

来年度は、市内全地域での公共施設再編ワークショップを計画しているとのこと。これをチャンスとして、各地域でのワークショップへ積極的に参加していきたいと思います。松戸に、老若男女の誰もが集まれるステキな図書館を目指して!

図書館を学ぶトークイベント
「暮らしのなかに図書館を」
報告 青木和子

松戸市立図書館主催のトークイベントが、1月30日(土)新松戸の青少年会館、2月13日(土)常盤平市民センターで開催され、常盤平での会に参加しました。講師は、午前中の「松戸市図書館整備計画審議会」に引き続

いて駆けつけて下さった、常世田良・大串夏身・柳澤潤の三氏。

先ず、昨年策定された「松戸市図書館整備計画」について、審議会委員長常世田さんから内容説明。続いて三氏から「松戸の強みは分館の多さだが、規模が小さく、非常に利用が多い新松戸や常盤平などは対応しきれていない。最近増えてくる「働き盛り」の大人に役立つ図書館が望まれる。松戸のサービスは下位なので、これから伸びる可能性に期待したい。」などと話されました。また、国内外の素晴らしい図書館が映像と共に多数紹介されました。

最後に、質疑応答。
今年度は2回だけでしたが、来年度以降は質疑応答の時間をたっぷり設けて、市内各地域での市民との話し合いの場を持ち、計画の実現へ向けての気運を高めて行くことが大切だと考えます。